|  |  |
| --- | --- |
| 解答例 | 解説 |
| １ | 知識アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン技能アイコン技能アイコン技能アイコン | ⑴　B⑵　融点⑶　ア⑷　F⑸　沸点⑹　ア⑺　C：エE：イG：カ | １ | ⑴⑵　・水はが0℃，が100℃の物質である。・物質が状態変化しているときは，温度が変化しない。・－10℃の氷を加熱すると水の温度はし，0℃（B点）になると氷（固体）から水（液体）に状態が変化し始める。⑶⑹　・融点や沸点の温度は物質によって一定である。・物質の質量を多くしたり，強く加熱したりしても，状態変化するまでの時間が変化するだけで，融点や沸点が変化することはない。⑷⑸　100℃（F点）に達するとが始まり，温度が変化しなくなる。⑺　・A点：固体のみ。・B点とC点：氷がとけつつある。氷（固体）と水（液体）の2つの状態がある。・D点とE点：氷は完全にとけて水（液体）になっている。・F点とG点：水（液体）が沸騰して水蒸気（気体）が出ている。水（液体）と水蒸気（気体）の2つの状態がある。 |
| ２ | 知識アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン知識アイコン | ⑴　状態変化⑵　蒸留⑶①　液体　②　固体　③　気体⑷　水蒸気⑸ | ２ | ⑵　液体どうしの混合物を加熱して沸騰させると，沸点の低い液体が先に気体となって出てくる。出てきた気体を冷やして液体にして集めると，混合物から物質をできる。⑶　固体：はすきまなく規則正しく並んでいる。液体：粒子は比較的自由に動くことができ，粒子のは固体より広い。気体：粒子が空間を自由に飛び回り，粒子間の間隔は広い。⑷　水が沸騰して気体に変化したものを水蒸気という。⑸　水蒸気は目に見えない。目に見える湯気は水蒸気が冷えて液体になった水である。 |